

2023年5月17日

消費動向調査結果(2023年4月調査)

消費抑制の要因として、新型コロナの影響が弱まる

本調査は、県内の消費動向や消費者意識を把握するため、県内1,000世帯を対象に、3カ月ごとに実施している。

 調査結果のポイント

1. 新型コロナに対する意識や消費行動の変化について

- ・ 新型コロナへの強い不安感は2割を下回り調査開始以来最低に
- ・ 消費行動を抑制する理由として、「感染が怖いから」は大きく低下
- ・ 今後の消費行動は、積極的な割合が2割を超える

2. 物価について

- ・ 物価の上昇を感じている割合が9割を超える
 - ・ 「物価上昇により支出が増えている」が6割を超える
 - ・ 物価上昇の中、「収入は変わっていない」が6割を超える
- 新型コロナ感染確認から3年以上が経過し、今年の5月8日には、感染症法上の位置付けが5類に移行した。アンケートでは、消費行動を抑制する理由として上位にあった「感染が怖いから」の割合が大きく低下する結果となり、今後の行動でも「積極的になる」の割合が増加するなど明るさがみえ始めている。一方、今回の調査では物価上昇を感じている割合が9割を超えたほか、収入増への見通しも弱く、引き続き物価高と収入の伸び悩みが消費の下振れ要因になるとみられる。

<お問い合わせ先>

一般財団法人 長野経済研究所 電話：026-224-0501

担当：調査部 主任研究員 寺嶋 孝太郎

研究員 伊東 聡史

【調査の概要】

「消費動向調査」アンケート実施概要

調査時期： 2023年4月中旬～4月下旬

調査対象： 長野県内在住の1,000世帯

回答属性： 単独世帯 241世帯
二人以上世帯 759世帯

性別 男性 50.0% 女性 50.0%
年齢別

20代	2.1%
30代	12.9%
40代	20.3%
50代	23.6%
60代	22.5%
70代以上	18.6%

調査方法： インターネット調査

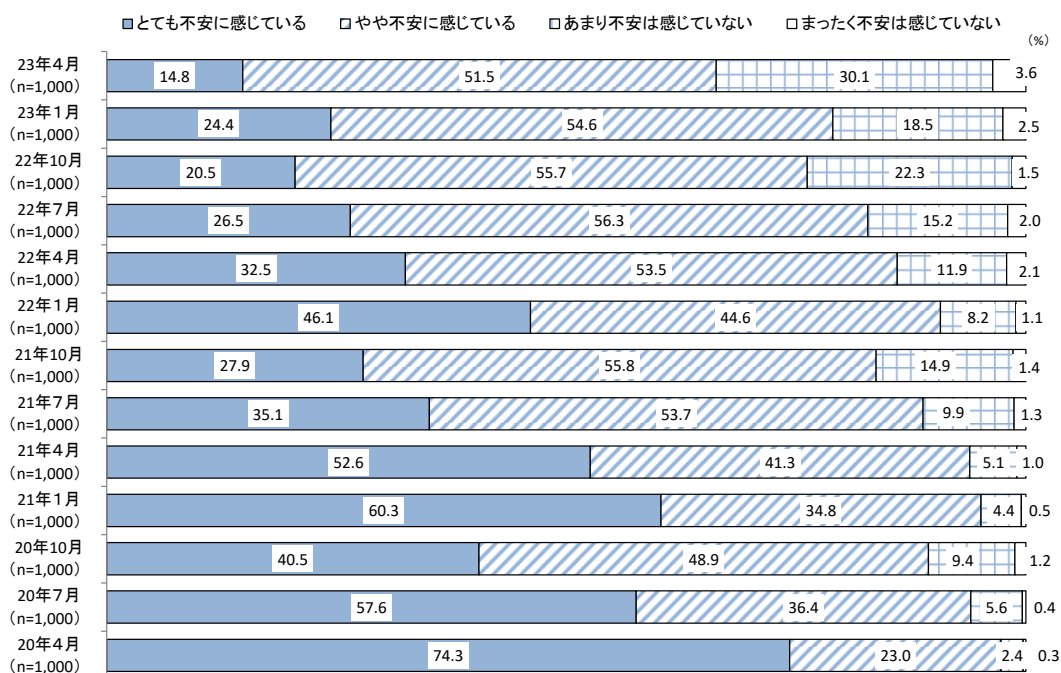
※ 四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

1. 新型コロナに対する意識や消費行動の変化について

(1) 新型コロナへの強い不安感は2割を下回り調査開始以来最低に

- 新型コロナに対する意識は、**図表1**のように「とても不安に感じている」(14.8%)と「やや不安に感じている」(51.5%)を合わせた66.3%が不安を感じている。ただ、「とても不安に感じている」は14.8%と前回調査(23年1月、以下同じ)に比べ9.6ポイント低下し、調査開始以来最も低くなった。新型コロナへの強い不安感は弱まっている。
- 新型コロナ感染拡大前と比べた消費行動は、**図表2**のように、抑制的(「抑制的になった」+「やや抑制的になった」)の回答割合が43.2%と、前回調査に比べ10.3ポイント低下し、調査開始以来最低となった。

図表1 新型コロナに対する意識



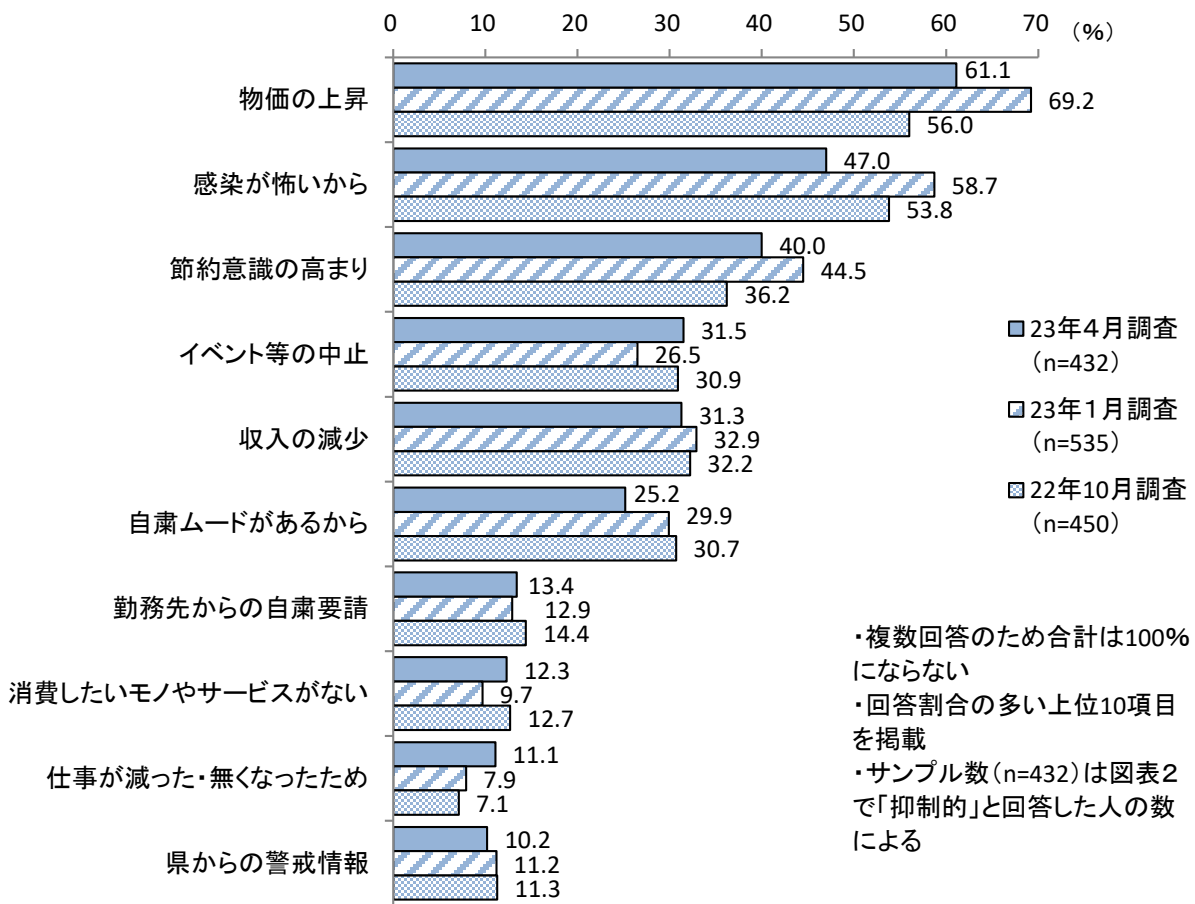
図表2 新型コロナ感染拡大前と比べた消費行動



(2) 消費行動を抑制する理由として、「感染が怖いから」は大きく低下

- 消費行動を抑制する理由については、**図表3**のように「物価の上昇」が61.1%と最も高く、次いで「感染が怖いから」(47.0%)、「節約意識の高まり」(40.0%) などとなった。
- 「感染が怖いから」は依然上位ながら、前回調査に比べ11.7ポイント低下した。

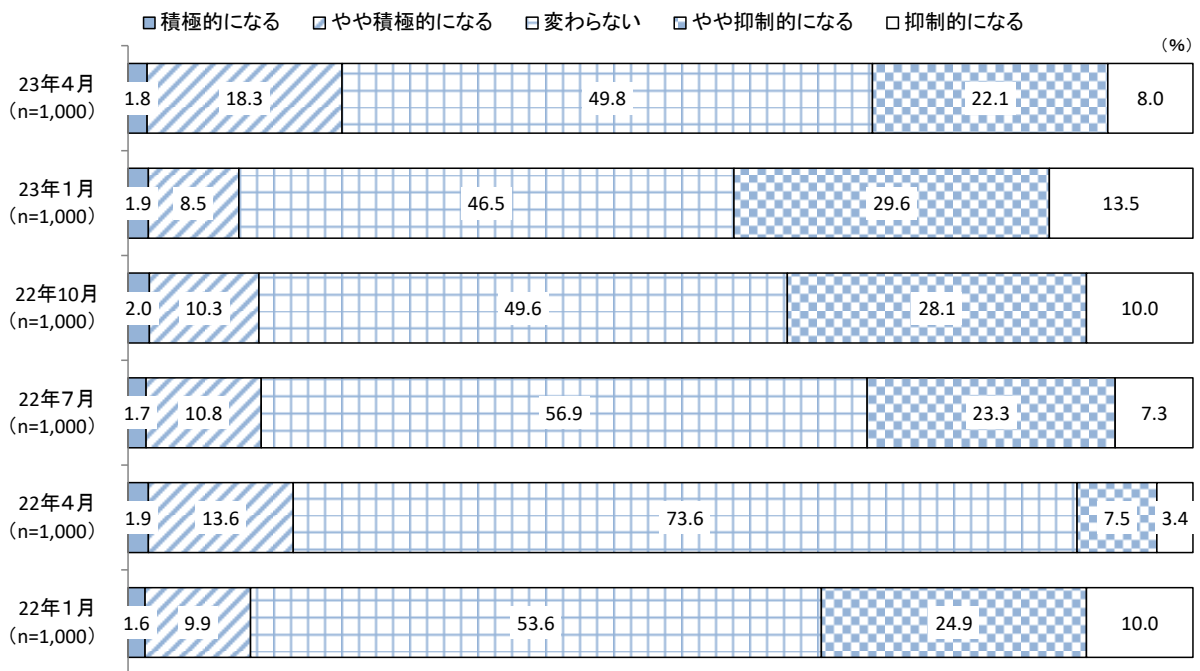
図表3 消費行動を抑制する理由



(3) 今後の消費行動は、積極的な割合が2割を超える

- 今後の消費行動については、図表4のように「変わらない」の回答割合が49.8%と最も高くなった。
- 抑制的（「抑制的になる」＋「やや抑制的になる」）の回答割合は30.1%と前回調査に比べ13.0ポイント低下した。一方で、積極的（「積極的になる」＋「やや積極的になる」）の回答割合は20.1%と前回調査から9.7ポイント上昇した。

図表4 今後の消費行動

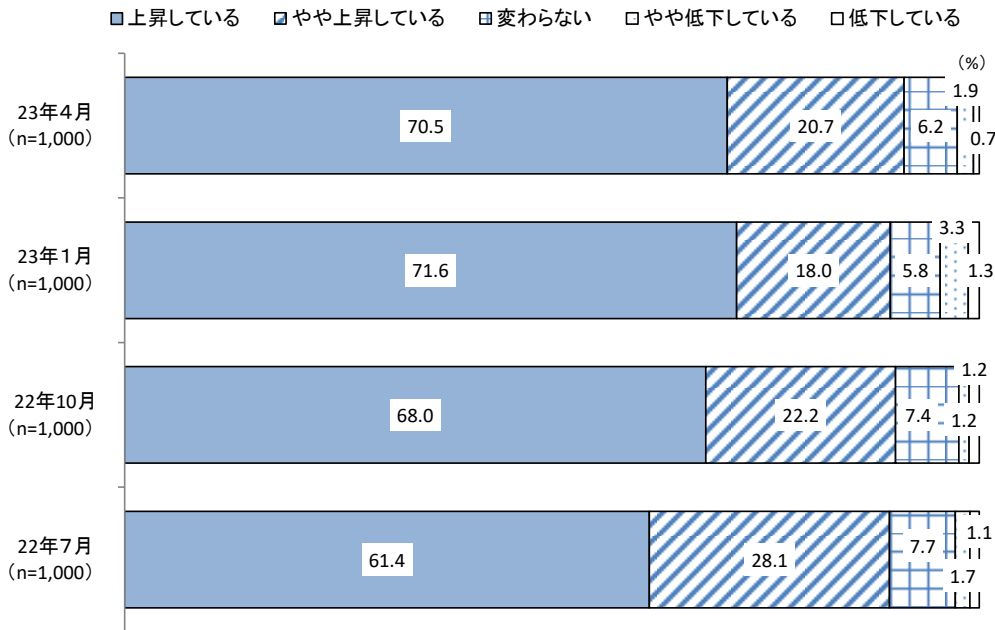


2. 物価について

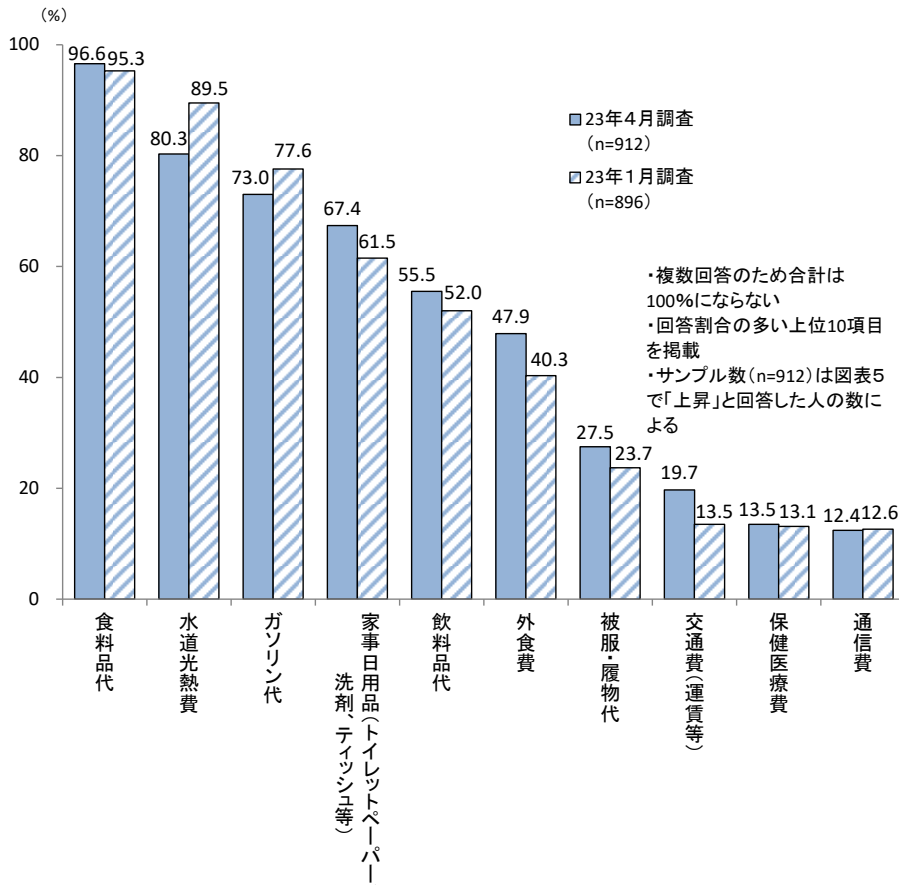
(1) 物価の上昇を感じている割合が9割を超える

- ・ 最近の物の値段やサービスの価格については図表5のように、上昇（「上昇している」＋「やや上昇している」）の回答割合が91.2%と、物価の上昇を感じている割合が9割を超えた。
- ・ 物価上昇を感じている項目としては、図表6のように、「食料品代」が96.6%と最も高く、次いで「水道光熱費」（80.3%）、「ガソリン代」（73.0%）などとなった。

図表5 最近の物やサービスの価格



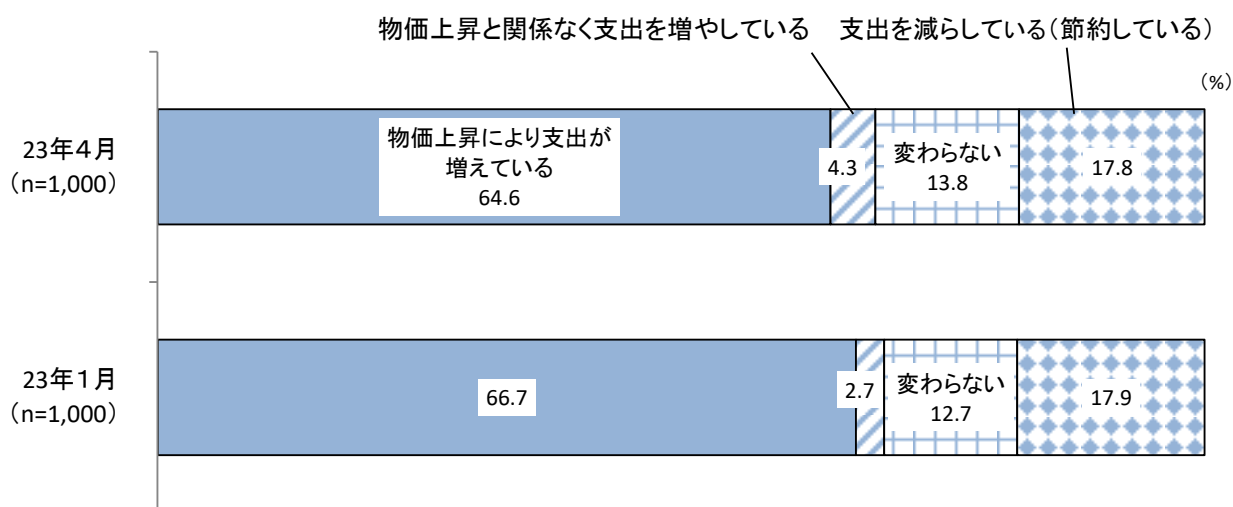
図表6 物価上昇を感じている項目



(2) 「物価上昇により支出が増えている」が6割を超える

- 最近の物価上昇に伴う家計支出の状況については、図表7のように、「物価上昇により支出が増えている」が64.6%と最も高くなった。

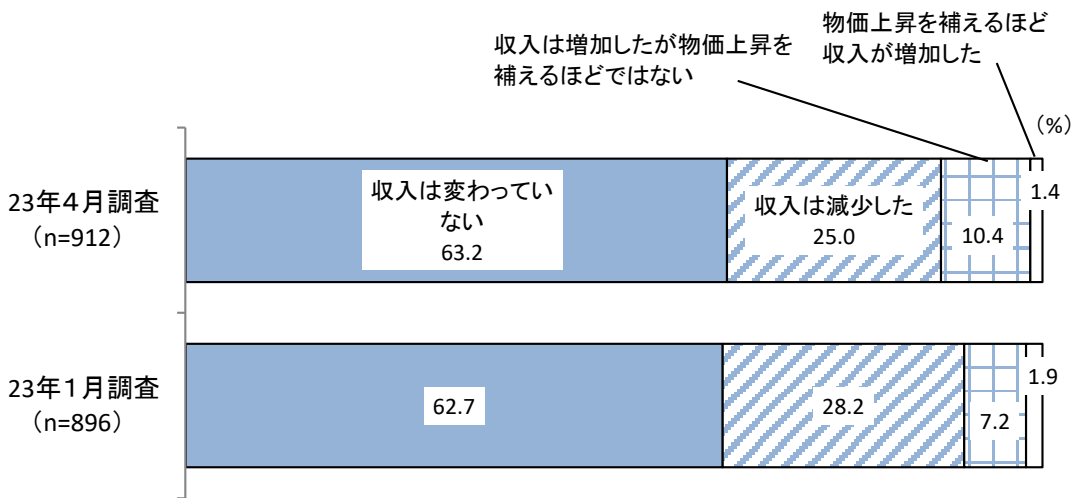
図表7 最近の物価の変化に伴う家計支出



(3) 物価上昇の中、「収入は変わっていない」が6割を超える

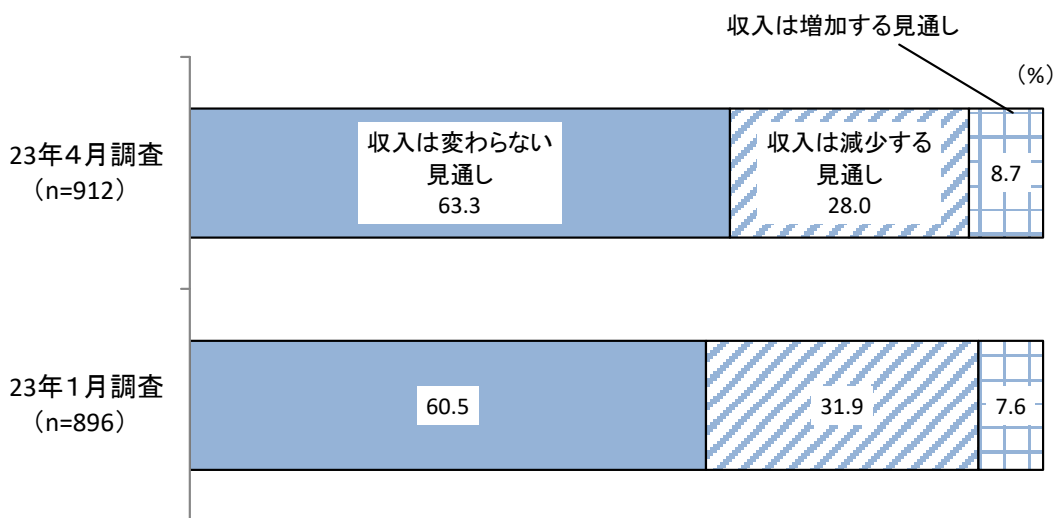
- 最近の収入の変化については、**図表8**のように、「収入は変わっていない」が63.2%、「収入は減少した」が25.0%となった。一方で、「物価上昇を補えるほど収入が増加した」は1.4%にとどまった。
- 今後の収入の見通しについても、**図表9**のように、「収入は変わらない見通し」が63.3%と最も高く、次いで「収入は減少する見通し」が28.0%となった。一方で、「収入は増加する見通し」は8.7%にとどまっている。

図表8 最近の収入の変化



※図表5で「上昇」と回答した人の数による

図表9 収入の変化の見通し



※図表5で「上昇」と回答した人の数による